

## 2015 CES ハイエンドオーディオ見学レポート

パナソニック㈱ アプライアンス社

井谷 哲也

本年も1月6日より9日までの間、ラスベガスコンベンションセンター（LVCC）及びその周辺ホテル会場で2105 CESが開催された。広く知れ渡っている通り、CESは世界最大級のコンシューマエレクトロニクス展示会であり、本年も全世界より約3600社の展示に17万人の参加見学者を集め、過去最大規模となった。

今年のCESは、TVでは4K/8K、HDRなどの高精細化・高画質化とスマート化に、その他の分野ではウェアラブル端末や、IoT関連の製品やサービスなどに注目が集まり、またここ数年CES展示での存在感が増している自動車メーカーでは、自動運転などの新技術のデモなどが注目されていた。

また、これも例年通り、Venetian TowerホテルSuiteの上層階（29-31階、34、35階）にて高級オーディオメーカーの展示及び試聴デモが行われていた。日本を含む全世界のマスコミ関係者や一般オーディオマニアに加え、バイヤー、ディストリビュータの来訪も多く、商談きっかけの場としての意味も持っている。

更にVenetianを含むLVCC周辺ホテルSuiteでは、半導体やSolutionメーカーのプライベート展示もあり、エンジニア達の情報交換の場としても活用されている。

ここではVenetianでの展示を中心にレポートするが、限られた時間での視察であったため、全てのブースを網羅できておらず、偏ったレポートになってしまった事を予めお断りしておく。

近年のオーディオ業界のトレンド通り、ハイレゾ、ネットオーディオの展示が増え、かつては自身の評価用CDを持って各社ブースを回っていた見学者も、今多くはUSBメモリーに音楽データを入れて持ち歩くようになっている。そのハイレゾも、ダウンロードから、今後ストリーミングや、ポータブルへの展開など新しい動きも見せ始め、他にもヘッドホンの普及やアナログの復権なども反映し活気の有る内容であった。



写真1 Venetian Tower Suites 近景。

砂漠の中なので真冬でもこの青空  
気温も高く、昼は汗ばむほど。コートは不要。

## Sony

ここ数年、ハイレゾを中心に訴求を重ねてきた同社は、今年もハイレゾ関連機器を中心に豊富なラインアップを展示。

昨年も展示されていた PASS 社のアンプ (Sony V-EFT 40<sup>th</sup> Anniversary) や同社の高級コンポーネントラインアップ、スピーカのフルラインアップ展示に加え、今年は新製品のハイレゾウォークマン、NW-ZX2 を展示。

音デモは HAP-Z1 でのハイレゾデモ。常に多くの見学者で賑わっていた。



写真 2 TA-A1ES/HAP-Z1ES と創業者写真



写真 3 ポータブルプレーヤ NW-ZX2  
ヘッドホン MDR-Z7



写真 4 PASS (Sony V-EFT 40<sup>th</sup> Anniversary)  
アンプと SS-NA2ES

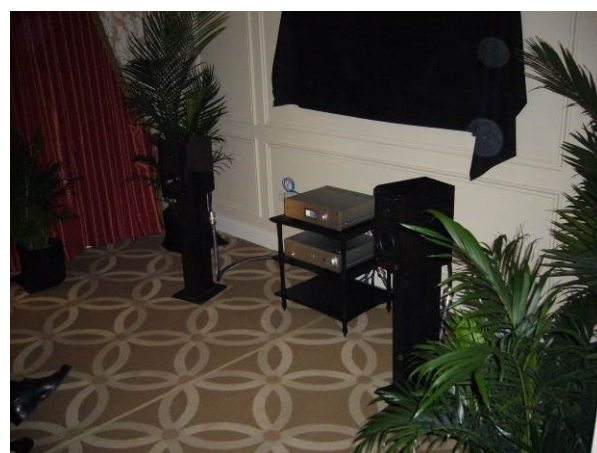


写真 5 HAP-Z1ES/TA-A1ES/SS-NA5

## TAD

Venetian の 34、35 階は天井が高く、広くゆったりとした Suite で音響的にも優位。各国の高級ブランドブースが並ぶ。

主要各社がブースを構える 29 - 31 階の下層階に比べると、ぐっと見学者の数が減るが、それだけに、各社のデモをじっくりと聴けるのが特徴。

TAD は 34 階にブースを構え、新製品の TAD-CE1 を中心にデモ。広めの試聴室でゆったりと上質な音を聞かせていたのが印象的だった。



写真 6 TAD-CE1 のデモ。ゆったりとした空間



写真 7 TAD のラインアップ展示

## ECLIPS By Fujitsu Ten

タイムドメインで著名な同社は、5.1ch の環境を作り、ノートルダム寺院で録音されたオルガンソースでシステムの空間再現力をデモ。その奥行感と教会ホールの高さを連想させる音は圧巻。

また、ライフスタイル提案として、デスクトップオーディオを意識した TD-MI も展示。



写真 8 5.1ch 試聴コーナー



写真 9 手前のデスクには TD-MI

## ESOTERIC

同社のフラグシップラインアップ Grandioso シリーズがコントロールアンプ C1 の発売をもって完成。トータルシステムの高音質を Cabasse のスピーカを使ってデモしていた。

優れた音質もさる事ながら、部屋全体を暗めにセットアップし、同社のアルミデザインをシックに際立たせる、手馴れた感じのする展示方法であった。



写真 10 Grandiso シリーズで音デモ



写真 11 背面はフルラインアップの展示が

## Accuphase

Accuphase も北米のディストリビュータである Axiss が毎年 Venetia に出展。新製品の発表はなかった模様。A-70/C-2820/DP-720 を MAGICO S3 でデモ。



写真 12 Accuphase デモ

## MELCO

昨年バッファロー(株)から発売されたハイエンドオーディオグレード NAS の N1 が北米でもお披露目。日本でのブランド DELA ではなく、海外では MELCO ブランド。

トップオープンのディスプレイで SSD 搭載やコンストラクションをアピール。こちらマニアから熱い視線が注がれていた。



写真 13 MELCO N1 DAC 接続展示



写真 14 N1 トップオープン機

## Meridian

昨年 12 月 4 日に全世界に向けて発表された新ロスレスハイレゾ Codec の MQA(Master Quality Authenticated)をデモ。ハイレゾストリーミング時代の到来を感じさせていた。

2014 年の音展基調講演で、ゲストとしてプレゼンした同社創業者の Bob Stuart 氏も自らが説明に立たれ、力の入れ様が伺われる。

なお、Stuart 氏からは、“日本オーディオ協会の皆様にも宜しく”との伝言を頂いております。

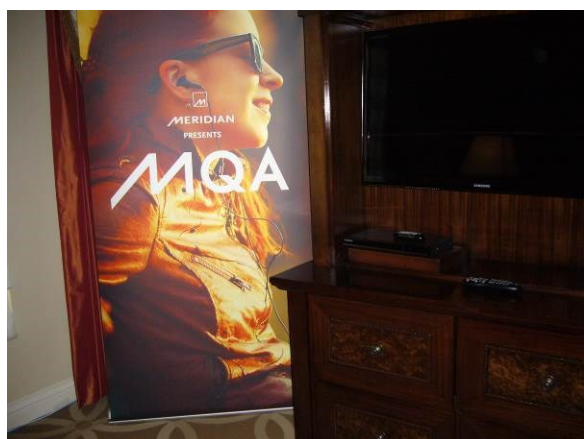


写真 15 MQA を大々的に訴求



写真 16 Bob Stuart 氏と筆者

## Ortofon

アナログの復権は世界的風潮で、今 CES でも多くのターンテーブルを見かけた。カートリッジ老舗の Ortofon も同社カートリッジを中心に展示。



写真 17 アナログプレーヤでデモ



写真 18 カートリッジラインアップ

## International Rectifier

D-AMP 用パワートランジスタ老舗の同社も、毎年 Venetian にブースを構え、最新デバイスのデモ展示を行っている。開発のリーダーを務める本田氏は、“Class-D アンプは、効率を上げていくと歪みも良くなる。即ち、デバイス改善＝性能向上。Continued Innovationこそ我々の信条。”と熱く語っておられた。



写真 19 毎年最新デバイスでデモ



写真 20 IR 社音デモセット

## ICE Power

Jeff Roland や Pioneer の採用で有名な D-AMP Solution 老舗の ICE Power 社も Venetian に陣取り B&W802 を用いて音デモを。また同社のモジュール基板ラインアップを展示。



写真 21 ICE Power 社音デモ



写真 22 基板 Solution のラインアップ展示

## WiSA (Wireless Speaker and Audio Association)

無線のオーディオ伝送の標準団体で、同規格を推進する Summit 社と共に展示。WiSA は、2011 頃には LVCC の Silicon Image 社のブースでデモしていたが時期があったが、昨年あたりから Venetian に移り、今年も同様。HDMI のレピータ基板に WiSA の Tx を搭載したモジュールボードや、それが採用された実機を展示しデモを行っていた。

国内 AV メーカーの参入に引き続き、昨年は欧州系のスピーカメーカーが相次いで参入表明。市場を伸ばしつつある。

SPDIF で 192KHz を伝送するよりも、WiSA の方が高音質との声も一部ある模様で、今後ハイレゾ普及と共に動向が注目される。



写真 23 WiSA メンバーが着実に増えている



写真 24 Summit 社製の WiSA モジュール

## Libre

同社は元 BridgeCo のメンバーが起業したマルチルームオーディオのネットオーディオモジュールメーカー。MTK の高速 CPU を用いた同社 Solution は Google Cast Audio にも対応。Mirage ホテルの最上階 Suite にて最新モジュールを使ったマルチルームのデモを行っていた。



写真 25 Libre 社のマルチルームデモ

## CSR

Bluetooth の高音質 Codec、aptX で有名な CSR は、LVCC 近くの Spring Hill Suites にブースを構えて、同社技術ラインアップの説明とデモを。ユニークなフィードバックループを持つ D-AMP システム DDFA は既に NAD 等に採用され、他にもノイズキャンセルヘッドフォン、サウンドバーSolution など幅広く展示していた。

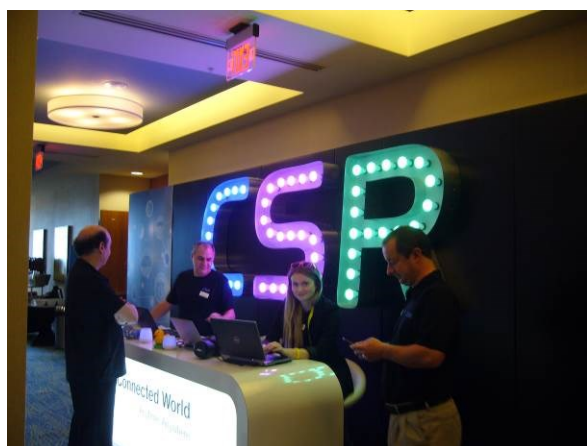


写真 26 CSR 社 Suite エントランス



写真 27 DDFA の展示

### Hi-Resolution Audio (Venetian1 階)

ハイレゾダウンロードの有名サイト HDtracks も昨年同様に展示を。なお同社 CEO の Chesky 氏も最終日まで参加、あちこちのブースで情報交換されていた模様。



写真 28 HDtracks 社



写真 29 Acoustic Sounds

### HDMI-LLC

HDMI 2.0 をプロモートする HDMI-LLC、3 度目になる Emmy 賞を受賞。

6 日のプレスリリースでは、次世代の HDMI には、高解像度、高フレームレート、HDR (High Dynamic Range) などの映像系進化に加えて、音声フォーマットの追加にも言及されていた。



写真 30 エミー賞トロフィーと HDMI-Licensing LLC President の Steve Venuti 氏。

## Technics

昨年 IFA で全世界への発信を行った Technics は、5 日に Mandalay Bay ホテルで行われた プレスカンファレンスで北米導入を発表。それに引き続き Venetian で新製品の R1 シリーズ、C700 シリーズのデモを行った。ディーラ、バイヤーに加え、多くの雑誌ライターや業界関係者も多く来訪いただき、音質を確認いただいた。



写真 31 非常にデッドな部屋に調整も苦労



写真 32 ラインナップ展示



写真 33

Big Picture Big Sound (Web) の編集長  
Chris Boylan 氏 (左) と Technics スタッフ



写真 34

HDTracks の David Chesky CEO (中央) 来訪  
小川理子 テクニクス事業推進室室長 (左)  
筆者 (右)

著者プロフィール：井谷 哲也 (いたに てつや)

1980 年 松下電器産業 (現パナソニック) 株式会社入社。CD プレーヤ、レーザーディスクプレーヤ、DVD プレーヤ、BD レコーダ等の商品開発を担当。

現職：パナソニック(株)、アプライアンス社、ホームエンターテインメント事業部、テクニクス事業推進室、チーフエンジニア。